

私と手すり

今日も暮るの整理をい

け回も整理した所だがに 又いふ事があるが

その時その時の判断は今と比べて

9日 直介の部屋にたがきれいに作る

れいり ぬいもの少しがフ勤や29で奇行

をほうて ほんの少しがフはかく

こふ一週内毎日どこかへ行かてい

て中ひきとほひきもやだ

次はここと すぐ次はここと 次は部屋に私

難なりだ

友人はへんがしおまうでいふとさうしあこ

自分の思ふようにはやれない

お一冊にしてま ^すすかにありてつくいなんで

このやうにやると

あいつ行ける台所など 思ふようにはな

ていふのがあたります

でも少しづつ毎日毎日作がやていふと

うちするこがなるやまがむしろある

まだ ベツとにはなこらんてはいうた

永は船時だ

運筋らしい二とほ 出乗所の杖 加へてモ一羽か

る今此は、玄園の手すりて 紫の 解習をいこり

る けんりやじわりところで 行つたり 乗たり

こんやひくろ 了こと はるい

云い 君い 所下 なる 手だし ち ちし 徳意だつた

ろ 三家で 行けり ところを 一、二、三、 一、二、三、 果合を

かや ながら 十家ぐらゐ ちく

けい ち 聖印が 万知地 と 思つて 今にも 五回

玄園一行、了乗下。

し かし 書子 物としり けんと 甲の 時川が 下り

人肉の 墓で 跡を 去り 去り もり あり あり

と 玄園の手すりへ 行く